令和８年度 府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第２学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	・自分の考えに自信がなく、初発の感想や考えを発言する人に偏りがある。 ・新出漢字のを覚えるのに個人差があり、漢字を使わず、ひらがなばかりになってしまう児童がみられる。 ・句読点、段落、かっこの使い方の理解に個人差がある。	・様々な気持ちを表す言葉を取り上げ、ペア学習やグループ学習を通して自分の考えや感想を伝え合う機会を増やす。【表現】 ・新出漢字を使った言葉を児童に出させたり、使い方を学習したりして語彙を増やす。【発見・決定】 ・文章を書く際に、正しい表記を確認するとともに、自分で読んだり友達と読み合ったりして丁寧に校正させる。【表現】		
算数	・一斉指導では、課題を解決する速さや理解に差がみられる。筆算などを正確に計算できる児童も多いが、一桁＋一桁で指を使って解いている児童も多い。 ・長さや水のかさの単位、時刻と時間などの仕組みが定着していない様子が多くみられる。 ・問題の答えに単位を付け忘れてしまう傾向がある。	・一人一人が自分の課題を意識できるようにし、解決の過程で学習方法を選択する場面を設定する。（友達や先生と考える、ICT 機器を使う、一人で解く、友達に説明するなど）【決定・対話】 ・授業では具体物や図、数直線などを用いて視覚的な理解を促し、生活の中では単位に触れる機会を積極的に取り入れ、単位の仕組みを理解させ、実生活の中でも活用できるようにする。【表現】 ・問題ごとに答えに付ける単位の必要性を判断させ、適切に単位が付けられたことを確認する。【発見】		
生活	・自身の周りや生き物に興味をもち、主体的に取り組んで知識を身に付ける必要がある。 ・学んだことを自身の生活に生かすことに課題がある。 ・スライドやミライシードを使い、分かりやすく工夫してまとめることに差が見られる。	・一人一人の思いや願いを基に調べ方を選択できるようにし、様々な視点から対象を捉えられるようにする。【決定】 ・振り返り場面では話し合ったり、記述したりする時間を確保する。【表現・対話】 ・学習の目的に応じて端末を活用する場面を設定し、調べたり記録したりする力を高める。【表現】		
音楽	・３拍子のリズムを感じ取ったり表現したりすることの難しさがみられる。 ・みんなで楽しく歌っているが、響きのまとまりに課題がある。 ・鍵盤ハーモニカの演奏では、タンギングや運指の技能に個人差が大きい。	・手拍子や打楽器でのリズム遊びに継続して取り組ませる。【表現】 ・互いに声を聞き合って歌うことに意識が向けられるように、様々な歌唱形態を経験させる。【発見】 ・個々に合わせた演奏技法を認め、演奏の楽しさを味わわせる。【表現】		
図画工作	・表したいことを見付け、色や形を選択することが難しく、活動を始められない様子が見られる。 ・素材や画材を正しく扱うことができていない様子が見られる。 ・造形的な活動をするときに、材料に触れ、感じたことを作品に表すにはどう活動するとよいかを考えることが難しく、活動途中で手が止まってしまう様子がある。	・継続的に作品例をもとに鑑賞をし、自分の見方や感じたことを広げる活動を増やすとともに、自分に合った色や形を選択できるようにする。【発見・決定】 ・物の扱い方を書画カメラや画像で視覚的に提示することで正しい扱い方に気付かせる。【発見】 ・友達同士の対話を充実させ、活動のイメージを膨らませながら作品を作ることができるようにする。【対話・表現】		
体育	・運動能力の差が大きく、運動に対する意欲に差がみられる。 ・他者の運動への関心がもてず、運動に関する対話が少ない傾向にある。	・個の能力に応じためあてをもたせ、それぞれに合った課題に取り組ませる。また、振り返りを行い、次時への見通しをもたせ、意欲を高める。【決定】 ・グループで活動の様子を見合ったり、見たことを伝え合ったりする時間を設ける。【対話】		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。

令和８年度 府中市立府中第六小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）